



新型コロナウイルスワクチンの接種について



新型コロナウイルスワクチンは、発症を防ぐ効果が認められています

今回新たに承認された新型コロナウイルスワクチンは、2回の接種によって、95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果が認められています。（※インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%）



新型コロナウイルスワクチンは、あなたご自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段となります

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。このウイルスの感染により、令和3年1月末までに6千人以上の方が亡くなり、3万人以上の方が入院されています。特效薬も開発中の段階です。

こうした中で、多くの人に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待できます。



どんなワクチンでも、副反応が起こる可能性があります

一般的にワクチン接種後には、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすため、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。治療を要したり、障害が残るほどの副反応は、極めて稀ではあるものの、ゼロではありません（予防接種による健康被害は救済制度の対象です）。

今回新たに承認されたワクチンの国内治験では、ワクチンを2回接種後に、接種部位の痛みは約80%に、37.5度以上の発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の人に認められています。

ワクチンに含まれる成分に対する急性のアレルギー反応であるアナフィラキシーの発生頻度は、市販後米国で100万人に5人程度と報告されています。日本での接種では、ワクチン接種後15～30分経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行います。



新型コロナウイルスワクチンの承認後も、継続的に安全性が確認されています

国では、アナフィラキシーや医師が予防接種との関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家が評価します。こうした報告の中には、ワクチン接種後の持病悪化・死亡のように、ワクチンとの因果関係が直ちに評価できない事例も含まれていますが、幅広く収集し、評価を行うこととしています。

加えて、1～2万人の先行接種者を含め、延べ約300万人の人について、ワクチン接種後の症状などの調査を国では予定しています。

このように、国は、ワクチンの安全性を継続して確認し、安全性に関する情報を提供されています。



新型コロナウイルスワクチンは、誰もが全額公費（無料）で受けることができます

外国人も含め、接種の対象となるすべての住民に全額公費で接種を行う見込みです。接種の時期が近づいたら、市から、接種のお知らせや接種券（クーポン券）をお送りする予定です。



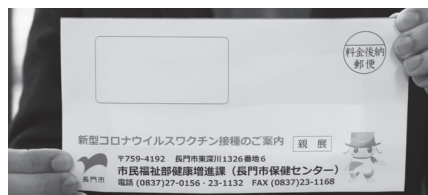
原則として、住民票所在地の市町村（住所地）の医療機関や接種会場で受けていただきます

なお、次のような事情のある人は、住所地以外でワクチンを受けていただくことができる見込みです。具体的な手続きは今後案内します。

- 入院・入所中の住所地以外の医療機関や施設でワクチンを受ける人
- 基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける人
- お住まいが住所地と異なる人

☑ 高齢者の皆さんへクーポン券の郵送が始まる予定です

接種に必要です、絶対に捨てないでください！



入っている書類は、封筒ごと大切に保管してください。

★ワクチンを受けるには本人の同意が必要です
現在、何かの病気で治療中の人や、体調不良など接種に不安がある人は、かかりつけ医などにご相談の上、ワクチンを受けるかどうかお考え下さい。

🏠 新型コロナワクチンの接種には、優先順位があります

国では、全国民に提供できるワクチンの数量を確保することを目指しています。しかしながら、ワクチンの調達が段階的にならざるを得ないことから、まず、重症化リスクの高い方から順に接種することで、重症者や死亡者を減らすことを優先します。また、新型コロナウイルス感染症患者に対する医療提供体制を守ることも不可欠です。

このため、以下の順で接種をしていく方針です。

- ①新型コロナウイルス感染症患者などに直接医療を提供する医療従事者など
- ②65歳以上の高齢者
- ③基礎疾患を有する人や高齢者施設等において利用者に直接接する職員
- ④上記以外の一般の人

☑ 接種回数と接種間隔

2回の接種が必要です。今回、新たに承認されたワクチンでは、通常、1回目の接種から3週間後に2回目の接種を受けます。1回目から3週間を超えた場合には、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。

☑ ワクチンについて、正しく知ったうえで、判断しましょう

国は、新型コロナワクチンを承認し、接種をお勧めするにあたって、国内外の数万人のデータから、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応といったデメリットより大きいことを確認しています。

市としても広報やホームページなどで情報提供を行っていきます。

📞 相談窓口

制度の問い合わせ（施策、在り方など）

厚生労働省
新型コロナワクチンコールセンター
☎0120-761770
9時～21時（土日祝日も実施）

専門的な問い合わせ（有効性、安全性、副反応など）

山口県ワクチン接種専門相談センター
☎083-902-2277 FAX 083-902-2212
8時30分～17時30分（土日祝日も実施）
薬剤師が対応

一般的な問い合わせ（接種時期・場所、救済制度など）

長門市 コロナワクチン接種推進室

専用ダイヤル ☎27-0156

8時30分～17時15分（土日祝日を除く）

※聴覚に障害がある方はFAX23-1168に問い合わせください

